

# 保護者の皆さまへ

～長期実践型インターンシップ（就業経験プログラム）ご参加にあたり～



NPO法人G-netでは、地域で活躍する、前向きで主体的な思考・行動特性を持つ若者を育成することを目的として2001年に設立し、長期実践型インターンシップ（ホンキ系インターンシップ）を中心事業として、東海三県（岐阜・愛知・三重）で活動を行っています。

近年では、インターンシップという取り組みが大学生を中心に一般的になりつつあり、各種メディアで取り扱われることも多くなりました。しかしながら、既存の短期体験型インターンシップとは異なるホンキ系インターンシップに関しては情報も少なく、その活動内容や効果などに不安を持つ保護者の方も少なくないと思います。

ホンキ系インターンシップは、2004年に経済産業省・起業家型人材育成事業の一環として始動した「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」のひとつとしてスタートし、2012年までの8年間で中部圏を中心とした全国300名以上の学生、120社を超える企業が参画をしています。

G-netでは、学生のチャレンジとそこからの成長を全力でサポートしています。ぜひ私たちの事業への思いや取り組み内容に対して、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NPO法人G-net  
代表理事 秋元 祥治

ホンキ系インターンシップは、採用目的とした短期体験型インターンシップ（数日～2週間程度）とは異なり、単なる職業体験ではなく長期間（6ヶ月～）にわたり“期間限定の正社員”として就業体験を行う実践型のプログラムです。長い期間のチャレンジだからこそ、実際の社会の中で一定の役割が与えられ、それが学生の飛躍的な成長、また企業における成果につながります。また、春夏の長期休暇（6週間程度）を活用した地域協働型インターンシップもごさいます。地域の実際の現場に飛び込んで地域おこし活動や、地場産業の活性化の現場での仕事を集中的に経験することが出来ます。

## 大学との両立

ホンキ系インターンシップでは、「長期休暇期間：週5日（40時間）」「授業期間中：週3日（24時間）」を研修時間の基本条件としていますが、授業期間中に関しては、学生の時間割を最大限に考慮の上、勤務日／時間の設定を行っています。※地域協働型インターンシップでは、「長期休暇期間：週5日（40時間）」の勤務となります。

インターン期間中は各学生に専属コーディネーターがつき、授業計画の立て方など大学の両立に関する悩み・インターン中に直面する課題への解決方法といったアドバイスを行うほか、受け入れ企業担当者＋学生＋コーディネーターの三者による中間モニタリングを月に1回実施するなど、相談体制が整っています。



## 費用について

ホンキ系インターンシップは「労働」ではなく、学生に成長の機会を提供する「研修プログラム」です。そのため一般のアルバイトのように給与は発生しません。

インターン参加学生には「活動支援金（4～6万円／月）」が支払われますが、これはアルバイトの時間を確保することが困難な学生を財政的に支援することを目的とした奨学金に相当するものであり、労働に対する対価ではないことをご理解ください。

活動支援金、通勤にかかる交通費支給などの処遇概要に関しては、インターンシップ開始前に文書にて必ず確認をした上で、受け入れ企業と学生の双方の責任において取り決めを行います。

## サポート体制

G-netでは、プログラムに参加をする学生が最大限の力を出そうとできるよう、またそこで得た経験を次のステップにつなぐことができるよう、定期的に研修を実施しています。また企業と学生の適切なマッチングを行うため、エントリー前には複数回の面談を実施し、学生の疑問や不安の解消に努めています。

万が一に備え、すべてのインターン生は「インターンシップ保険」への加入が義務づけられており（加入保険料は受け入れ企業側が負担します）、インターン期間中に発生したケガや事故にもすみやかに対応ができるよう配慮をしています。

※インターンシップ保険の詳細に関するご質問がある場合は、G-net事務局までお気軽にお問合せください。



## (補足資料)ホンキ系インターンシップについて

### 長期実践型と短期体験型インターンシップの比較

分類	一般的なインターン (短期体験型)	1ヶ月インターン (中期集中型)	半年インターン (長期実践型)
期間	2週間 (1Day~4週間程度)	6週間 (事前事後研修含む)	3ヶ月~6ヶ月 (1年を超えるケースも)
内容	・会社見学 ・職場体験	・マーケティング/リサーチ ・プロジェクトの一部を担当	・プロジェクトの全体を担当
ポジション	研修生(お客さん)	プロジェクトアシスタント	プロジェクトメンバー
企業の期待	・社会貢献 ・採用の一環として	・プロジェクトの前進 ・プロジェクトの <b>可能性検証</b>	・プロジェクト目標の達成 ・社内人材育成力の向上
得られること	・職場の雰囲気を知る	・仕事の作られ方を知る ・自分の力を知れる	・仕事の全体像を知る ・大きな達成感

### インターンシップとは？

インターンシップとは「企業が学生を一定期間受け入れ、仕事を体験させる仕組み(アルバイトなど雇用によるものを除く)」です(厚生労働省「インターンシップ推進のための調査研究委員会」による)。

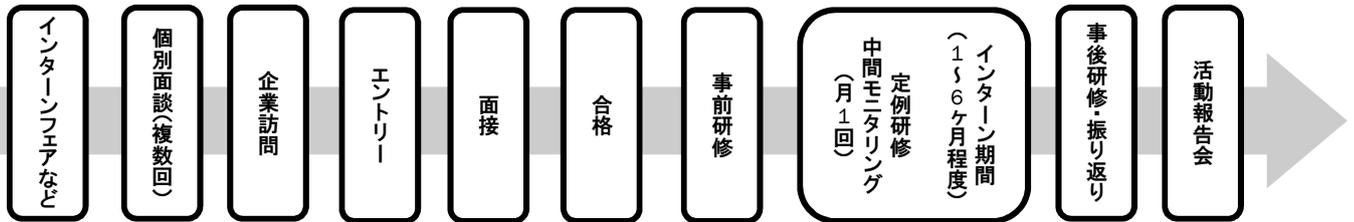
近年、若年失業率の高まりやフリーター、ニート、大学生の就職難など若年者雇用を巡る諸問題を端緒に、学校在学中の職場体験等を通じた職業意識啓発の重要性が増しています。特にその中心的な取組として、大学生を対象としたインターンシップへの期待と関心は一層の高まりを見せているといえるでしょう。

その中でも長期実践型インターンシップは、学生の成長・挑戦を引き出し、より高い実習効果が得られる先進的な取り組みとして、全国的に注目を集めています。

### ※起業家的行動特性とは？

G-netでは、ホンキ系インターンシップ参加学生に“自分で夢を描きその実現に向けて懸命に努力する”“問題を発見しその解決策を考える”といった、自ら考えて行動する起業家的・創造的な行動特性や力を身につけてほしいと考えています。

### インターンシップ参加の流れ



## 団体概要(NPO法人G-net)

### NPO法人とは？

NPO (Non Profit Organization) とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配することを目的としない団体の総称です。したがって、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることとなります。その内でも「特定非営利活動法人」とは、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人のことを指します(内閣府NPOホームページより抜粋)。

- 団体名 特定非営利活動法人 G-net
- 代表者 代表理事 秋元 祥治  
顧問 鈴木 寛氏(参議院議員・元文部科学副大臣)  
田口 義隆氏(セイノーホールディングス代表取締役)
- 設立 2001年10月1日(法人登記2003年5月26日)
- 事業種別 社会教育、まちづくり、文化芸術振興等
- 事務所所在地 (岐阜オフィス) 岐阜県岐阜市吉野町6-2ブラザービル2F
- 受賞歴 経済産業省「ものづくり日本大賞・優秀賞」受賞  
経済産業省「ソーシャルビジネス55選」選出  
若者版国民栄誉賞「人間力大賞2007」日本青年会議所会頭特別賞  
アメリカ国務省「International Visitor Leadership Program」採択  
岐阜県県民栄誉賞  
パートナーシップ賞(インターン信金連携)
- 大学連携 ホンキ系インターンシップ単位認定大学:  
金城学院大学、中京大学(総合政策学部)、早稲田大学  
横浜国立大学、高知大学、朝日大学、三重大学、愛知淑徳大学  
地域協働型インターンシップ単位認定大学:  
岐阜大学及び、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜  
講義等の連携:  
岐阜大学、四日市大学、愛知県立大学、日本福祉大学  
金城学院大学、中央大学、横浜国立大学、名古屋大学

